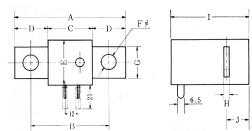
HICUT FUSE

低圧限流速断ヒューズ UHF-ALシリーズの概要

概要と特長

- ◆警報接点付ヒューズ(UHF-AL型)も主ヒューズの構造はUHF型と変わりません。
- ◆警報接点を作動する警報ヒューズは、主ヒューズに並列に仕組まれ、すべてモールド されています。
- ◆警報ヒューズには、抵抗限流を行う素子を用い、狭小部があり消弧剤を充填し密封しています。
- ◆主ヒューズが溶断すると直ちに警報ヒューズが溶断し、警報接点を閉じると同時に溶 断表示をするようになっています。
- ◆整流素子を多数並列に使用し、それぞれにUHF-ALを直列に用いた場合も警報ヒューズは、主ヒューズの溶断により確実に切れて、警報接点は作動し溶断表示も行います。
- ◆警報接点と警報ヒューズとは、絶縁された別回路です。従って、警報回路は警報接点 端子を利用して配線してください。
- ◆その他は(2)ページに記載したUHF型の概要と特長を参照ください。

UHF-AL型 製品の種類と寸法



					1)								
型式	定格電圧 AC[V]	種類	寸 法[mm]								/# *		
		定格電流[A]	Α	В	С	D	Е	F	G	Η	I	7	備考
UHF-AL130-1	130	40,50,75,100 150,200,250,300	80	62	40	20	30	9.5	22	5	57	16	標準品
UHF-AL130-2	130	400,500,600	96	70	40	28	36	11	26	6.5	61	18	標準品
UHF-AL250-1	250	40,50,75,100 150,200,250,300	95	77	55	20	30	9.5	22	5	57	16	標準品
UHF-AL250-2	250	400,500,600	113	87	57	28	36	11	26	6.5	61	18	標準品

警報ヒューズだけの特性

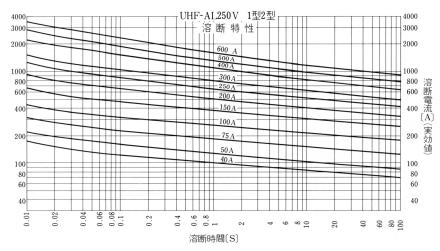
	常時電流(A)	溶断電流(A)	接点容量(A)
各型共通	0.3~0.7	4 (1分以内)	3 (250V誘導負荷)

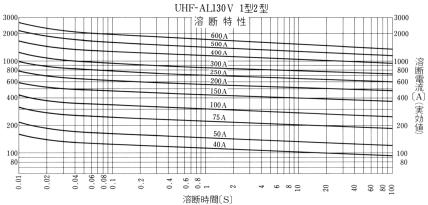


HICUT FUSE

UHFーALの特性

溶断特性





定格と性能

型式	定格電圧 (V)	定格電流 (A)	通電電流 (A)	温度上昇 (℃)	接続バーサイズ	温度飽和 後損失(W)	全遮断I ² t (× 10 ³ A ² S)	備考
UHF-AL250-1	250	40 50 75 100 150 200 250 300	40 50 60 80 120 160 200 260	50 45 36 41 40 52 41 56	8mm ² 14mm ² 38mm ² 38mm ² 4×25 4×25 4×25×2校 4×25×2校	5.65 6.37 7.02 9.59 12.2 15.5 18.8 26.1	6.2 7.4 10.5 16 25 37 49 86	全遮断 I ² t は規約短絡電流 50KA(半波非対称 RMS における最大の値を示す。
UHF-AL250-2	250	400 500 600	320 400 450	49 61 56	5×50 5×30×2枚 4×50×2枚	27.4 32.3 33.6	125 200 270	
UHF-AL130-1	130	40 50 75 100 150 200 250 300	40 50 75 100 150 200 250 300	20 22 24 33 35 38 40 45	8mm ² 14mm ² 38mm ² 38mm ² 4×25 4×25 4×25 4×25×2枚 4×25×2枚	2.86 3.15 4.6 5.78 7.75 10.2 12.25 15.4	4.2 5.9 13.5 17 32 54 59 68	全遮断 I ² t は規約短絡電流 35KA(半波非対称 RMS) における最大の値を示す。
UHF-AL130-2	130	400 500 600	400 500 600	49 53 56	5×50 5×30×2枚 4×50×2枚	19.3 25.1 30.5	95 125 185	